

目標

●整粒歩合…80%以上 ●品質ランクA格付…100% ●単収…350kg/10a

(品種:ファイバースノウ) 容積重 690g/ℓ以上 細麦率 2.2mm(篩)下に2.0%以下
白度 43以上 硝子率 40%以下

※肥料・農薬名は農協の推奨品目です

月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月																																															
生育段階	播種期		3葉	分けつ期	積雪期間			節間伸長期 止葉展開期	出穂・開花期	成熟期																																															
主な作業	苗立の安定化		茎数の確保		越冬前の生育量確保	穂数確保		登熟向上																																																	
主な作業	<ul style="list-style-type: none"> ◎稲刈り直後、額縁排水溝を設置し、深く掘り下げる ◎心土破碎(サブソイラ等) ◎種子消毒(播種前日までに) ◎堆肥・石灰質資材施用(pH6.0~6.5を目標とする) ◎雑草防除の徹底 ※土壌が乾いた場合は、早急に播種を実施(10月中旬までに完了) 		<ul style="list-style-type: none"> ◎排水溝の手直し(随時) ◎年内追肥1回目(播種1ヶ月後) 		<ul style="list-style-type: none"> ◎年内追肥(葉色が淡くて茎数が少ない場合のみ) 	<ul style="list-style-type: none"> ◎消雪直後の追肥2回目 ◎排水溝の掘り下げ ◎排水溝の点検と手直しおよび 		<ul style="list-style-type: none"> ◎止葉展開期の追肥3回目 	<ul style="list-style-type: none"> ◎赤かび病2回目防除 ◎赤かび病1回目防除 ◎雑草(カラスノエンドウ)等の除去 ◎刈取り(水分は30%を目安に刈取開始) ◎雑草(カラスノエンドウ)等の除去 		<ul style="list-style-type: none"> ◎作付けしない場合は雑草対策に努める ◎収穫後は大豆やソバ、クロタラリア等を 																																														
排水対策+適期播種で生育量確保			<p>畦畔・農道の草刈りの徹底</p>		<p>分施肥体系(表面散播) (kg/10a当たり)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施用資材</th> <th>肥料名</th> <th>使用時期</th> <th>使用量</th> <th>N</th> <th>P</th> <th>K</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基肥</td> <td>基肥30(20kg袋)</td> <td>耕起前</td> <td>35</td> <td>5.2</td> <td>2.4</td> <td>2.8</td> </tr> <tr> <td>追肥1回目</td> <td>硫安</td> <td>11月上旬</td> <td>20</td> <td>4.2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(年内追肥)</td> <td>(硫安)</td> <td>(12月上旬)</td> <td>(10)</td> <td>(2.1)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>追肥2回目</td> <td>硫安</td> <td>消雪直後</td> <td>15~20</td> <td>3.1~4.2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>追肥3回目</td> <td>硫安</td> <td>止葉展開期</td> <td>0~10</td> <td>0~2.1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>12.5~15.7</td> <td>2.4</td> <td>2.8</td> </tr> </tbody> </table>		施用資材	肥料名	使用時期	使用量	N	P	K	基肥	基肥30(20kg袋)	耕起前	35	5.2	2.4	2.8	追肥1回目	硫安	11月上旬	20	4.2			(年内追肥)	(硫安)	(12月上旬)	(10)	(2.1)			追肥2回目	硫安	消雪直後	15~20	3.1~4.2			追肥3回目	硫安	止葉展開期	0~10	0~2.1			計				12.5~15.7	2.4	2.8	<p>刈取適期の目安</p>  <p>水分30% (屈曲した穂の割合が50%程度)</p> <p>(早刈り=空洞粒 刈遅れ=硬質粒 収穫ロス)</p>	
施用資材	肥料名	使用時期	使用量	N	P	K																																																			
基肥	基肥30(20kg袋)	耕起前	35	5.2	2.4	2.8																																																			
追肥1回目	硫安	11月上旬	20	4.2																																																					
(年内追肥)	(硫安)	(12月上旬)	(10)	(2.1)																																																					
追肥2回目	硫安	消雪直後	15~20	3.1~4.2																																																					
追肥3回目	硫安	止葉展開期	0~10	0~2.1																																																					
計				12.5~15.7	2.4	2.8																																																			
全量基肥体系(ドリル播のみ) (kg/10a当たり)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施用資材</th> <th>肥料名</th> <th>使用時期</th> <th>使用量</th> <th>N</th> <th>P</th> <th>K</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基肥</td> <td>エコ大麦44号(15kg袋)</td> <td>播種時</td> <td>45</td> <td>13.5</td> <td>2.2</td> <td>4.0</td> </tr> </tbody> </table>		施用資材	肥料名	使用時期	使用量	N	P	K	基肥	エコ大麦44号(15kg袋)	播種時	45	13.5	2.2	4.0	<p>※原則、追肥しない。</p>		<p>※止葉展開期追肥は、葉色が濃い場合や茎数が多い場合は減肥する</p>																																						
施用資材	肥料名	使用時期	使用量	N	P	K																																																			
基肥	エコ大麦44号(15kg袋)	播種時	45	13.5	2.2	4.0																																																			

~めざせ! あおば大麦の高品質・安定生産!!~

富山県産大麦は品質の高さから主に主食用途として利用されており、安定した供給が求められています。

【大麦栽培のポイント】

◆ポイント1 排水対策の徹底と土壌pHの矯正

- 稲刈り後、直ちに額縁排水溝を設置し、掘り下げた排水口と連結する。
- 透水性の悪いほ場では、心土破碎を実施する。
- 排水溝の手直しは随時行い、こまめにほ場の排水に努める。
- 大麦は土壌pHが低いと生育が抑制されるので、pH6.0~6.5となるよう、石灰質資材は必ず散布する。

◆ポイント2 ほ場の乾きを見ながら適正に播種

- 播種は10月上旬を基本に、9月6半旬から10月中旬で完了する。
- 播種時期に応じた播種量で目標苗立数を確保する。
- 耕起~播種は土が乾いた状態で行い、1日のうちに作業を終える。
- ドリル播きでは、適正な播種深度(3cm程度)となるよう、丁寧に作業する。

苗立数・播種量の目安 ※①、②がおすすめ

播種時期	①9月25日~30日	②10月上旬	10月中旬
目標苗立数 本/m ²	140	150	200
ドリル播 kg/10a	6.5	7.0	9.0
表面散播 kg/10a	7.0	7.5	9.5

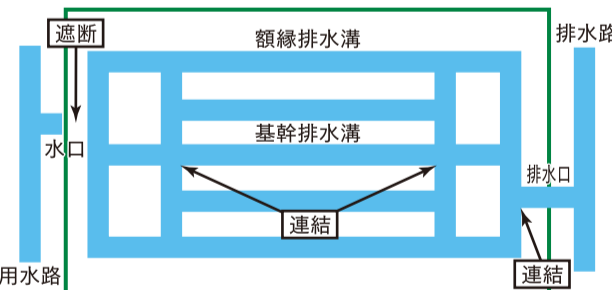
(土壌水分が高い場合は、表面散播に切り替える)

※近年ドリル播きのほ場で、雑草繁茂による収量減の事例が多発しているため、播種後に下記の除草剤を散布する。

●ドリル播種の除草剤対応

除草剤名	10a当り散布量	処理条件
トレフアノサイド粒剤2.5	4~5kg	は種後出芽前または生育期雑草発生前(但し、収穫45日前まで)
リベレーターG	4~5kg	は種後~麦2葉期(雑草発生前~イネ科雑草1葉期まで)
リベレーターフロアブル	60~80ml(希釈水量100ℓ)	は種後~麦3葉期(雑草発生前~イネ科雑草1葉期まで)
ハーモニーDF	5~10g(希釈水量100ℓ)	は種後~節間伸長期

ほ場の排水対策



土壌改良資材等施用の目安

資材名	施用量(10a当り)
苦土石灰	100~200kg
堆肥	牛糞・豚糞 1~2t
	発酵鶏糞 100~200kg

◆ポイント3 種子消毒と赤かび病防除は確実に

●種子消毒

薬剤消毒	
・ベンレートT水和剤20を乾燥種子重量の0.5%湿粉衣	
・種子10kgに50gの薬剤を入れ、水200mlを加用して混和する	

- 赤かび病の防除 ・赤かび粒の混入限度は0.0%
・2回の防除と畦畔・農道の草刈りを徹底する

防除時期	薬剤名	10a当り散布量
1回目(穂揃期)	トップジンM粉剤DL	4kg
	トップジンMゾル	1500倍液・150ℓ
2回目(1回目の7日後)	ワークアップ粉剤DL	3kg
	シルバキュアフロアブル	2000倍液・150ℓ

※詳細は特報にてお知らせします。

◆ポイント4 収穫時の異物等混入防止

- 収穫前に、カラスノエンドウ等の雑草や、ビニール・プラスチックなどの異物がないか、ほ場の見回りを徹底する。
- 収穫時にも落下物の混入がないよう一定の刈取り高さを確保するとともに、丁寧な収穫作業を徹底する。